

高齢者叙勲 旭日単光章 系原 仁一氏（小馬木）

系原さんは、昭和25年から4年間旧馬木村議会議員として、また昭和32年から昭和44年まで3期12年間にわたり旧横田町議会議員として、副議長などの要職を歴任され、地方自治の振興と住民福祉の向上に尽瘁されました。

また、昭和46年から平成3年までの20年間の永きにわたり、旧横田町選挙管理委員会委員及び委員長として選挙の適正な管理執行に多大の貢献をされました。

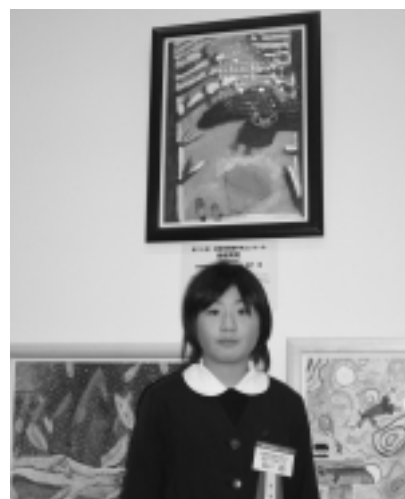
今回その功績により、叙勲の栄に浴されました。



県知事から叙勲の伝達を受ける系原さん

第19回 読書感想画中央コンクール

青戸 萌さん(阿井小5年)が最優秀賞



青戸さんと作品の「寒い冬」(上)

第十九回読書感想画中央コンクールにおいて、阿井小学校五年、青戸萌さんの作品「寒い冬」が、小学校高学年の部で全国の最優秀賞に選ばれました。

今回のコンクールには、全国から約五十三万一千点の応募があり、その中から二十八点の入賞作品が決定しました。

二月二十七日には青戸さんと吉野校長が役場仁多庁舎を訪れ、岩田町長、若槻教育長に受賞の報告をしました。

今回題材とした本は、学校で先生が読み聞かせてくれた海外の絵本「月夜のみみずく」で、少女が父親と

ミミズクを探しに行く物語 作品づくりについて青戸さんは「ミミズクの毛並みや雪が木に積もる様子、ミミズクを照らすライトの明かりの色使いなど細かいところを工夫した」と振り返っていました。

また受賞の発表は、全校児童がランチルームで給食を食べている時に発表され、「とてもびっくりした。みんなが祝福してくれて、すごうれしかった」と笑顔で話してくれました。

なお、青戸さんは二月二十二日、東京都千代田区の如水会館で行われた表彰式で、全受賞者を代表して挨拶をしました。

一味同心塾で子供料理教室

料理研究家の中村成子さんが館長を務める、一味同心塾で二月二十五日、亀高小学校の五、六年生十九人が訪れ料理体験をしました。

亀高小学校では、総合的な学習の時間に、学校近くの休耕田を利用した仁多米づくりを通して、農業の大切さや仁多米のおいしさなどについて学んでいます。



中村先生指導のもと真剣に取り組む小学生

がいのクリームスープ、ミートローフなど作業を分担して取り組み、お昼になると、出上がった料理をみんなでおいしく食べました。

一味同心塾での料理教室は今回で六回目となり、児童たちはどんなおいしい料理ができるか楽しみにしていました。

はじめに中村館長から、先祖代々主食として私たちの命を育んできたお米の大切さや栄養のある玄米についての話がありました。

調理が始まると、児童は中村館長の親切な指導を受けながら、玄米小豆ごはん、じゃ

児童たちは、この料理教室を通して、「食」と命が深く結びつき、食物は体だけでなく、心も養うことを感じています。